



NPO 法人

首都東京みなと創り研究会

東京都練馬区西大泉3丁目13番44号

理事長 小倉健男

http://members3.jcom.home.ne.jp/mtport

「平成19年度活動概要」の説明会を開催

当 NPO 法人も平成 18 年 1 月の設立後、コンテナ部会や木材部会等 5 つの部会を構成し、東京港についてのいろいろな検討課題を掲げて活動してきました。法人設立後 2 年が経過し、一応の成果が得られてきたことから、平成 20 年 2 月 20 日、当法人の平成 19 年度活動概要を下表のとおり、各部会の部会長から東京都港湾局に説明しました。

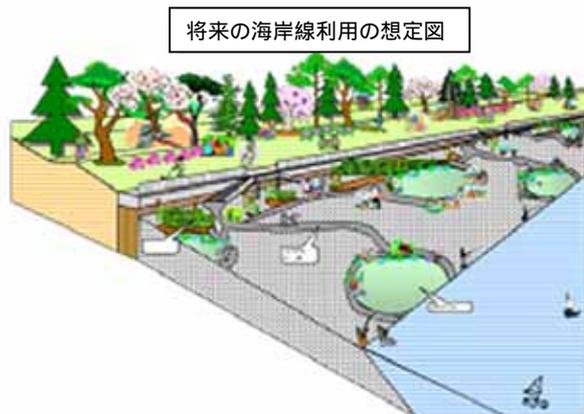
併せて、港湾局からは港湾審議会の諮問事項についてお話しをしていただきました。

それぞれの概要説明後、意見交換を行いました。

参加者は、港湾局から技監をはじめ 19 名の出席をいただき、当法人からは 18 名の会員が出席しました。

NPO 法人平成 19 年度活動の説明概要

- 1 コンテナ部会(説明:高橋、山崎)
 - ・ 東京港の競争力強化について
 - ・ 大井埠頭に高架物流幹線道路の建設を
 - ・ 資料(稲垣哲顧問発表資料の抜粋)
- 2 木材部会(説明:石渡)
 - ・ 東京港の木材(主として原木)事情 現状
- 3 環境部会(説明:高野)
 - ・ ヒートアイランドに挑戦
 - ・ 海とのふれあい新発見



「海とのふれあい新発見」より

港湾局の説明概要(説明:大和田課長)

- 1 諮問事項
「東京港の今後の港湾経営戦略」
- 2 諮問事項の内容
 - ・ 東京港を取り巻く経済状況の変化(現状分析)
 - ・ 大井・青海の既存ふ頭を含めたコンテナふ頭整備のありかた
 - ・ 臨海部全体の交通円滑化を視野に入れた道路ネットワークのあり方
 - ・ 首都圏物流改革を視野に入れ、東京港の役割を踏まえた港湾経営戦略の方向性



研究部会報告

東京港環境問題研究部会

鉄鋼スラグに関する共同研究始まる

当NPOと新日本製鐵株式会社およびJFEスチール株式会社との間で、昨年11月締結した協定に基づく「鉄鋼スラグ製品等が東京港の水辺環境の改善に及ぼす効果に関する調査研究」の第1回評価委員会が2月13日新

宿ワシントンホテルにおいて開催されました。

小倉理事長の挨拶、委員の紹介、岡田委員長の挨拶ののち議事に入り、以下の項目について活発な質疑と検討意見をいただきました。



- (1) 鉄鋼スラグの海域利用技術概要および鉄鋼スラグ利用試験全体計画案
- (2) 実海域事前評価結果および室内試験結果報告
- (3) 実海域試験計画案

主な意見としては、以下のものがありました。

- ・スラグへの微細藻類の付着について室内実験を行うと良い。浚渫土を混入させた場合においても同様で、安全性を確認することができる。
- ・海藻が生育可能かどうかについては、水中照度を測定しておくことが望ましい。また、SSの測定、もしくは沈降量の測定はどうか。
- ・鉄鋼スラグ製品を使った構造物と自然材料を使った構造物との比較のために設ける対照区の位置は地質、底生生物の状況を勘察して再検討した方が良い。
- ・構造物の法面をつたって夏季は貧酸素水塊が上昇し、生物が死んでしまう恐れがある。そのことを認識してモニタリング調査に当たる必要がある。
- ・構造物全体における生物生息の様子が見られるよう、トランシット等で定性的に目視観測してはどうか。
- ・今回のモニタリング調査で、何を持って効果とするかについては、最終的には生物生息状況となるのかもしれない。
- ・付着生物だけでなく、積極的に泥が溜まる場をつくって、そこでの底生生物を確認してはどうか。
- ・既設護岸と構造物との間は潮だまりとなって、生物生息場となる可能性がある。この活用が考えられるのではないかと。

第2回評価委員会は、実験海域の状況および構造物の施工状況の視察も含め、4月25日に予定されている。

平成20年2月24日～27日の4日間当研究会有志6名により発展著しい上海港（外高橋・洋山深水港、上海通運（日通））を調査してきました。

洋山深水港では50基のコンテナクレーンが林立し、橋梁部約3.2Kmの取り付け道路は往復6車線、その整備期間は設計を含め4年と全てが日本では考えられないスケールと・スピードでした。また、視察した日通の合弁倉庫では、日本の荷主本社とリアルタイムで結ばれたコンピューターシステムによって貨物の受・発送、バンニング、船積みを行い、日本における物流業務の簡素化とコスト削減が進められていました。視察報告は次の広報で報告します。

上海港現地調査日程

日数	日時	発着時間	発着地	交通機関	概要
1	2月24日 (日)	07:40 09:40 12:05	空港集合 成田発 浦東着	JAL791便	市内見学 上海泊
2	2月25日 (月)	08:30 11:00 15:00	ホテル 洋山深水港 外高橋 SIPG	マイクロバス	展望台より視察、 ヤード内バスで入場 上海泊
3	2月26日 (火)	08:00 09:50 14:00	ホテル 上海通運 (日通)訪問	マイクロバス	ヒヤリング 市内見学 上海泊
4	2月27日 (水)	14:00 17:40	浦東発 成田着	JAL792便	自由行動



洋山深水港完成鳥瞰図



昨年の秋、長い勤め人生活を終えたのを期に、ボケ防止と実益をかねて、防波堤釣りやネット株の取引を始めることにした。
防波堤釣りを始めるのに、基礎知識を得ようと入門書を漁って見た。

ある本に

一日幸せになりたければ酒を飲みなさい

三日幸せになりたければ結婚しなさい

七日幸せになりたければ豚を殺してたべなさい

一生幸せになりたければ釣りをおぼえなさい

という中国の古い諺が紹介されていた。

願わくば、こう在りたいものである、

魚釣りについては、港湾局時代からの仲間と時々船釣りを楽しんでいたので全く心得が無いわけではない。何とかなるだろうと、釣り竿を担いで房総の防波堤に出かけているが、釣果と言えばその晩のおかずにもならない始末である。

株取引は、今日まで全くの門外漢である。これも入門書にあたって見たところ、ファンダメンタル分析、テクニカル分析等聞きなれない言葉がやたらと出でて一筋縄ではいかない。要するに、これらの手法を使って安い株を見つけ高く売れということのようだ。損得は、当然ながら自己責任ですよとなっている。ネット株をいじくっているが、タラ・レバばかりでなかなか思っようにはいかないものである。

佐藤 宏

斯様に、実益のほうはさっぱりだが、ボケ防止のほうは悔しい思いをしているので少しは効いているかもしれない。

今更ながらではあるが、釣り糸を見ながら、機を待っている静の時と、機を見て出て行く動の時があり、動と静が巧く噛み合ったところで良い結果が出るように思えてきた。

魚信を取り、鉤を飲み込むのを待っている静の場面があり、仕掛けや餌を取り替え、魚を誘う動の場面がある。

株の情報を探り売買に出動する動の場面や株価の動向を見ながら出動の時期を待っている静の場面もあるようだ。

世の中と係わっていく上でも、動静の場面を常々注意深く見ていくことが大事ではないだろうか。ニュース等でも、場面の判断が甘いばかりに非難を受けることになったのではないかと思う事柄が見受けられる。

釣り糸を垂れ、株の動向を見たりしながら、古諺にあやかり、一生を幸せになれるよう動静の判断は自己責任で、ゆつくりとした人生のラストランを続けて行きたいものである。



事務局から

事務局長
事務局

大野 皓一郎
清水 武雄

090-6018-1013
090-3427-0370



新緑が目染める季節になりました。
前号を発行して以来、局との意見交換会や調査研究委員会の開催、上海港湾調査等行事が続きましたが、来月は早くも我がNPOの総会の時期です。
総会を目途に本年度の調査等をまとめた活動報告書を発行する予定ですので御期待ください。